

みずほCustomer Desk Report 2017/02/17号(As of 2017/02/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.09 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.14	1.0602	121.03	1.0049	1.2465	0.7720
SYD-NY High	114.31	1.0679	121.16	1.0058	1.2523	0.7732
SYD-NY Low	113.06	1.0594	120.68	0.9966	1.2455	0.7684
NY 5:00 PM	113.25	1.0672	120.89	0.9968	1.2491	0.7693
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.755/11.205		25RR	0.148	Yen Call Over	

	債券市場	日本2年債	-0.2350	-	
NY DOW	20,619.77	日本10年債	0.0990	0.8bp	
NASDAQ	5,814.90	米国2年債	1.2021	▲4.5bp	
S&P	2,347.22	米国5年債	1.9364	▲5.5bp	
日経平均	19,347.53	米国10年債	2.4467	▲4.7bp	
TOPIX	1,551.07	独10年債	0.3490	▲2.4bp	
シカゴ日経先物	19,290	英10年債	1.2590	▲3.8bp	
ロンドンFT	7,277.92	豪10年債	2.8000	1.3bp	
DAX	11,757.24	為替市況	USD/CNH	6.8493	
ハンセン指数	24,107.70		ドルインデックス	100.49	
上海総合	3,229.62		商品市況	CRB指数	192.763
USDJPY 3M Vol	11.26			NY金	1,241.60
USDJPY 6M Vol	10.97			WTI	53.36
EURJPY 3M Vol	12.67			Dubai Spot	53.84
EURJPY 6M Vol	11.96				0.26

東京
 シドニー時間に高値114.31をつけたドル円相場は、114.14レベルまで小幅に緩んで東京時間オープン。発表された豪1月雇用統計で雇用者数変化が13.5千人増、失業率が5.7%といずれも予想を上回ったものの、ドル円相場への影響は限定的。その後、麻生財務大臣がムニューチン米財務長官と初の電話会談を実施。日米経済の発展に向けて緊密な連携を考えると一致した一方、為替政策に関する話にはならなかったと報じられたが、こちらも相場の動因とはならなかった。但し、日経平均株価の上値が抑えられ米金利も伸び悩む中、ドル円の上値は重く113円台後半から114円台前半での狭いレンジで推移。午後に入っても新規材料に欠く、113円台後半でのみ合い推移が継続。結局ドル円は113.92レベルで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン
 ロンドン時間のドル円は続落。朝方は113.92レベルでオープン。一時的に114円ちょうどを越える場面もあったものの、ロンドン午前8時頃に全般的なドル売りとなる中、再び113円台後半へ反落。欧州株の軟調地合を受けクロス円も重たい展開が続く中でドル円の上値は重く、113.49まで下落。結局、113.55レベルでNYへ渡った。ロンドンでもドル売りの流れを受け底堅い展開となった。朝方は1.2467レベルでオープン。目立った英国関連のニュースがない中でドル売りの流れに押され1.2501レベルでNYへ渡った。(ロンドン-ルバー 日比野00531 444 179)

ニューヨーク
 過去2日間のレイン議長の議会での証言は効派なものとなり、今週に入って発表された米経済指標は総じて強い結果となったものの、115円を抜けきれなかったことで海外市場でドル円は113.49まで下落し、113.55レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回り、米2月フィデリア連銀景況指数は43.3と1984年以来の高水準となったがドル円への戻りは113.85までとなった。その後は特段の材料が無いものの、米金利が低下する展開にドル売りが再び強まり113.12まで下落する。午後に入り一旦調整から113.47まで戻すものの上値は重く、安値113.06をつけた後、113.25レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、海外市場でドル売りが優勢となったことから下値を切り上げ、加えて、1月のECB理事会議事録で、欧州各国の経済規模によって資産買い入れを行うキパル・キーについて、市場の状況によって買い入れ国債の構成変更を容認する姿勢を示したことからリスク志向が強まり、ユーロポットが強まったこともあり、1.0641レベルでNYオープン。朝方は、良好な米経済指標を受け下押しするものの、米金利低下を受け再びドル買いが優勢となったことから1.0679まで戻す。午後に入り一旦1.0647まで小緩む局面もあったものの、底堅い推移が続き、1.0672レベルでクロスした。(NY/上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 佐藤・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月16日	08:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	09:15	米 ダロリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	1月 13.5K/5.7%	10.0K/5.8%
	21:30	欧 ECB理事会 議事要旨	-	-
	22:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	1月 1,246K/1,285K	1,226K/1,230K
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	239K 245K
2月17日	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	2月 43.3	18.0
	05:10	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

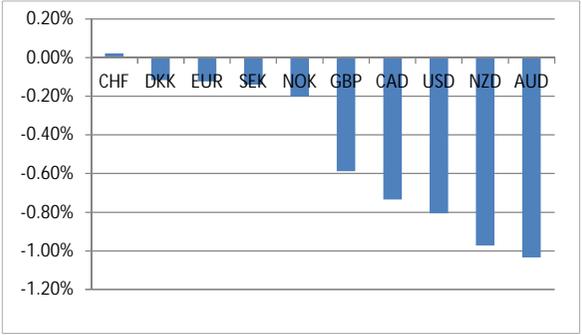
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月17日	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 0.7%/3.9%	-2.0%/4.9%
	18:30	英 小売売上高(含自動車燃料、前月比/前年比)	1月 1.0%/3.4%	-1.9%/4.3%
2月18日	00:00	米 先行指数	1月 0.5%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.80-113.80	1.0620-1.0720	120.40-121.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は、上値の重い展開。米新規失業保険申請件数やフィラデルフィア連銀景況指数が市場予想を上回り、113.85円まで上昇する局面も見られたが、ドル買いは続かず反落すると、113.25円レベルでクロス。本日のドル円相場は、方向感の乏しい展開を予想する。最近発表された一連の米経済指標は、事前予想を上回るケースが目立つものの、ドル円の上値は限定的。市場の注目は、トランプ大統領が数週間以内に発表するとされている減税策等に集まっており、目先は様子見ムードが広がりやすく、方向感に乏しい展開となりそうだ。